

留萌海上保安部のしごと

留萌海上保安部は、初山別村にある豊岬から増毛町にある雄冬岬付近に及ぶ海の安全を守っています。

海上保安部の職員（海上保安官）は、海で起こる犯罪を取り締まったり、海で事故が起こったときに、船や人を助ける仕事をしています。

また、海に流れた油や海岸に漂着したゴミの調査など、美しい海を守るのも大切な仕事です。

そのほか、海の地図「海図」を作ったり、灯台を管理したりしています。

日本全国には多くの海上保安部・海上保安署などがあり、それぞれ担当する海域があります。



留萌海上保安部は、初山別村から増毛町に及ぶ海の安全を守っています。

巡視船ちとせの紹介

巡視船ちとせは、長さ67.8メートル、幅7.9メートル、総トン数は325トンあります。スピードは、時速約30kmくらい出ます。

巡視船には、船を操船する「船橋」や、船のエンジンがある「機関室」、陸上の建物や他の船との無線をやりとりする「通信室」、職員の食事を作る「調理室」など、さまざまな施設があります。巡視船ちとせは留萌だけでなく、時には留萌以外の海に行くこともあります。巡視船には沢山の職員が乗船しており、みんなで協力して海の安全を守っています。



船橋



「航海科職員」が船を操船します。

機関室



「機関科職員」がエンジンを動かします。

通信室



「通信科職員」が無線を担当します。

調理室



「主計科職員」が食事を作ります。

海のルールとマナーを守ろう！

海には危険がいっぱいあります。また、遊ぶときにもルールとマナーがあります。きちんと守って楽しく遊ぼう！

海で遊ぶときは、大人の人と一緒にいきましょう！ 波が高いときに海に近づくことはやめましょう！

海や海岸にゴミを捨ててはいけません。必ず家に持ち帰りましょう！

うに、あわび、たこなどは漁師さんの大切な資源です。とって帰ることはやめましょう！

ボートに乗るときや釣りをするときには、必ず救命胴衣を着用しましょう！

